

【各報文】用限見直し

政府検討 現行保険証と同じに

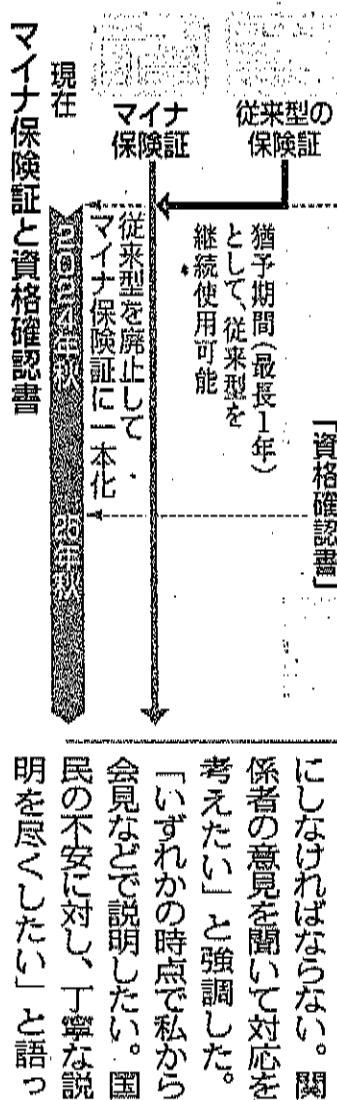
政府は、健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化した後、保険証代わりとなる「資格確認書」の有効期限の見直しへ検討に入った。「最長一年」を現在の保険証と同じに設定できることにする方向。岸田文雄首相が来週にも表明する方針だ。複数の政府筋が明らかにした。国民の不安

を払拭する狙いだが、混乱が繰り返し、来年秋に予定する保険証廃止の延期の是非を判断することも視野に入れる。首相は東京都内で記者団に対し、来年秋の廃止を明言しなかった。

政府が資格確認書の有効期限を「最長一年」と区切つたのは、 국민にマイナ保険証への移行を促すのが目明めにした。未取得者や紛失した人向けに「資格確認書」

を発行する保険証と同じ有効期限とする案が軸。二年間や無期限での使用が認められる」とになる。加藤勝信厚生労働相も記者会見で、有効期限を見直す可能性を示唆した。

今後の政府対応として、



資格確認書の有効期限見直しで国民の不安が一定程度解消されれば、予定通り来年秋で保険証を廃止する選択肢がある。だが混迷が続ければ、廃止延期が現実味を帯びる。政府関係者によると、仮に延ばすなら、来春までに関連法を改正しなければならない。さりげりまで事態を見極めるシナリオも想定される。

た。

資格確認書は、マイナンバーカードやマイナ保険証を持たない人の申請などに基づき、健康保険組合や自治体が発行する。見直し案は、七十五歳以上の後期高齢者医療制度や健保組合などが発行する保険証と同じ有効期限とする案が軸。二年間や無期限での使用が認められる」となる。加藤勝信厚生労働相も記者会見で、有効期限を見直す可能性を示唆した。

今後の政府対応として、

資格確認書の有効期限見直しで国民の不安が一定程度解消されれば、予定通り来年秋で保険証を廃止する選択肢がある。だが混迷が続ければ、廃止延期が現実味を帯びる。政府関係者によると、仮に延ばすなら、来春までに関連法を改正しなければならない。さりげりまで事態を見極めるシナリオも想定される。